

国別技能評価システムの概要
(技能評価システム移転促進事業)

更新日：令和5年8月31日
株式会社 J T B

国名	インドネシア
所管政府機関	<ul style="list-style-type: none"> • Directorate General of Training and Productivity Development, Ministry of Manpower (MOM / 労働省 訓練・生産性向上総局) • Badan Nasional Sertifikasi Profesi (BNSP=Indonesian Profesional Certification Authority) • Lembaga Sertifikasi Profesi-Logam dan Mesin Indonesia (LSP-LMI=Professional Certification Body-Metal and MachineryIndonesia)
技能評価制度	<p>BNSP(国家職業資格認証機構)により、インドネシア国家職業技能適性標準(Standard Kompetensi Kerja Nasional Indonesia :SKKNI)を設定。(特定の役職に就くために持っている必要とされる最低の知識、技能及び職業態度を含む能力の概念に基づき定められた職種ごとに必要とされるスキルを細分化した「能力ユニット」で、その組み合わせによる評価を行う。)</p> <p>職業ごとに KKNi*1 によりレベル 1 から最高レベル 9 までの 9 段階に分類されており、IQF*2 により教育機関等における学習、実務経験等によって得られた学習成果を測ることができる。この IQF の導入により教育や職業訓練、実務経験を通じて得られた能力を労働市場で活用しやすくなるようになっている。</p> <p>*1 Kerangka Kualifikasi Nasional Indonesia インドネシア国家職業資格制度 *2 Indonesian Qualifications Framework インドネシア資格枠組み</p>
実施体制	<p>【技能検定】 BNSP が認定した LSP(専門職業資格検定機関)が職業能力検定試験を実施。基本的には、受検者 1 人 1 人に LSP から評価者が企業などの現場に派遣され、必要な能力を有しているかどうかを審査する。認証は、BNSP が行う。</p> <p>金属機械分野(機械検査、金型仕上げ、フライス盤、機械保全、平面研削盤、プラスチック成形、金属プレス加工及び機械製図(CAD 作業))の国家技能検定の実技試験は、IMDIA(インドネシア金型工業会)がサポートする国家技能検定委員会*3(National Skill Certification Committee)が、課題や採点基準等を作成し、LSP-LMI が実施。学科試験は LSP-LMI で実施。2022 年度は機械系職種で機械検査、金型仕上げ、機械保全、フライス盤、プラスチック成形、金属プレス加工、機械製図(CAD 作業)の 7 職種の検定が行われ、211 名が受検し、109 名が合格した。2023 年度は、上記に平面研削盤を加えた 8 職種で 276 名の受検を予定している。</p> <p>*3 委員会メンバー：BNSP、LSP-LMI、日系企業 5 社、JETRO、日本大使館</p> <p>【技能競技大会】 インドネシアにおける国内技能競技大会は毎年開催され、2021 年度は CNC 旋盤、CNC フライス盤、プラスチック金型、電気設備、情報ネットワーク施工、メカトロニクス、機械製図(CAD)、電子工学等の 43 職種が実施され、373 名が参加した。2023 年度は 10 月に 7 部門 37 職種、1,300 名規模で実施予定。実施する職種は、有識者の意見、現在発展している技術、および ASEAN 技能競技大会や世界技能競技大会などの国際競技会にて実施されている競技職種に基づいて選択される。</p>
SESPP 支援職種	<p>【技能検定】 機械検査 2 級・3 級、金型仕上げ 2 級・3 級、機械保全 2 級・3 級、フライス盤 2 級・3 級、平面研削盤 2 級・3 級、プラスチック成形 2 級・3 級、金属プレス加工 2 級・3 級、機械製図(CAD 作業)2 級・3 級</p>